

善福寺川整備工事（その205） 工事説明会

日時：2021年10月25日

19時00分から20時30分

会場：松溪中学校

東京都第三建設事務所
大豊・黒部建設共同企業体

説明会次第

1. 開 会
2. 挨拶
3. 職員及び受注者紹介
4. 工事説明
 - 1) 事業の概要
 - 2) 工事内容
5. 質疑応答
6. 閉 会

事業の概要

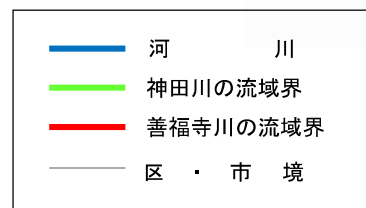
東京都第三建設事務所

善福寺川の概要

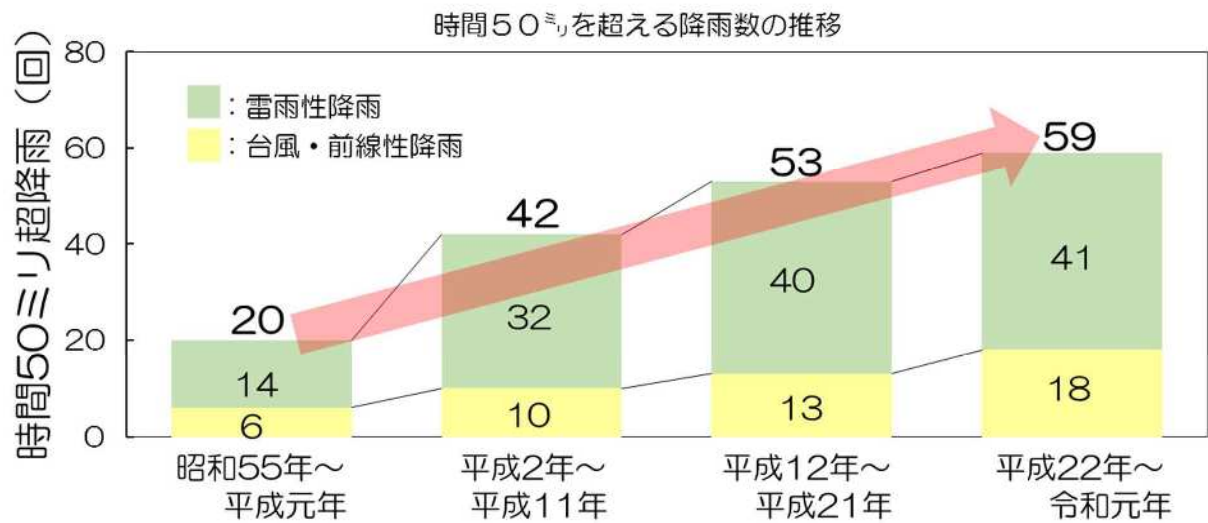


○流域面積 18.3km² (中野区、杉並区、練馬区、武蔵野市)

○河川延長 10.5km 下流端：神田川合流
上流端：杉並区善福寺町二丁目

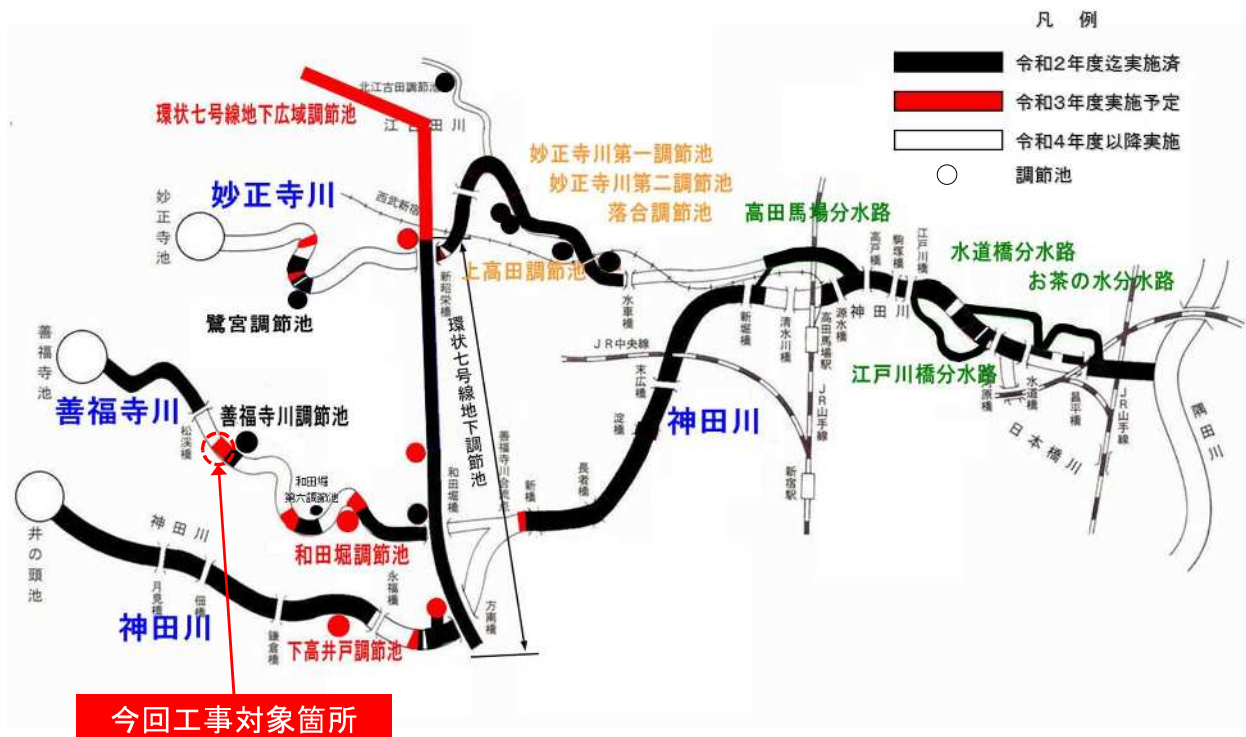


近年の降雨状況の変化



P.2

神田川流域の整備状況



P.3

神通橋側からの護岸工事の進め方

	平成30年度			平成31年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			備考
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	
神通橋下流 ～神通橋上流	■									■	■									護岸整備 作業構台撤去					
神通橋橋梁																■						新しい神通橋 架設			
西田橋～西園橋																■									護岸整備 公園復旧



工事内容

大豊・黒部建設共同企業体

工事概要

工事期間

自 令和3年10月下旬から
至 令和6年2月末まで(予定)

施工時間

午前8時 から 午後6時

午後5時:作業終了 午後6時:片付け完了

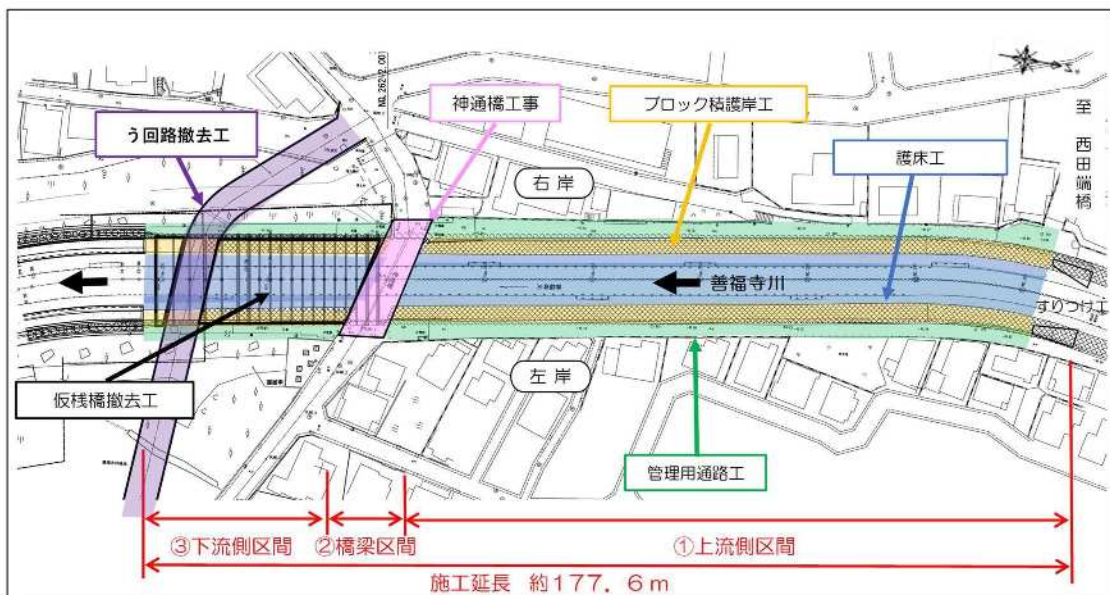
※土・日・祝日は原則作業を行いません。

(荒天や祝日により平日作業が行えない場合は土曜日に作業を行う
場合がございます。)

P.5

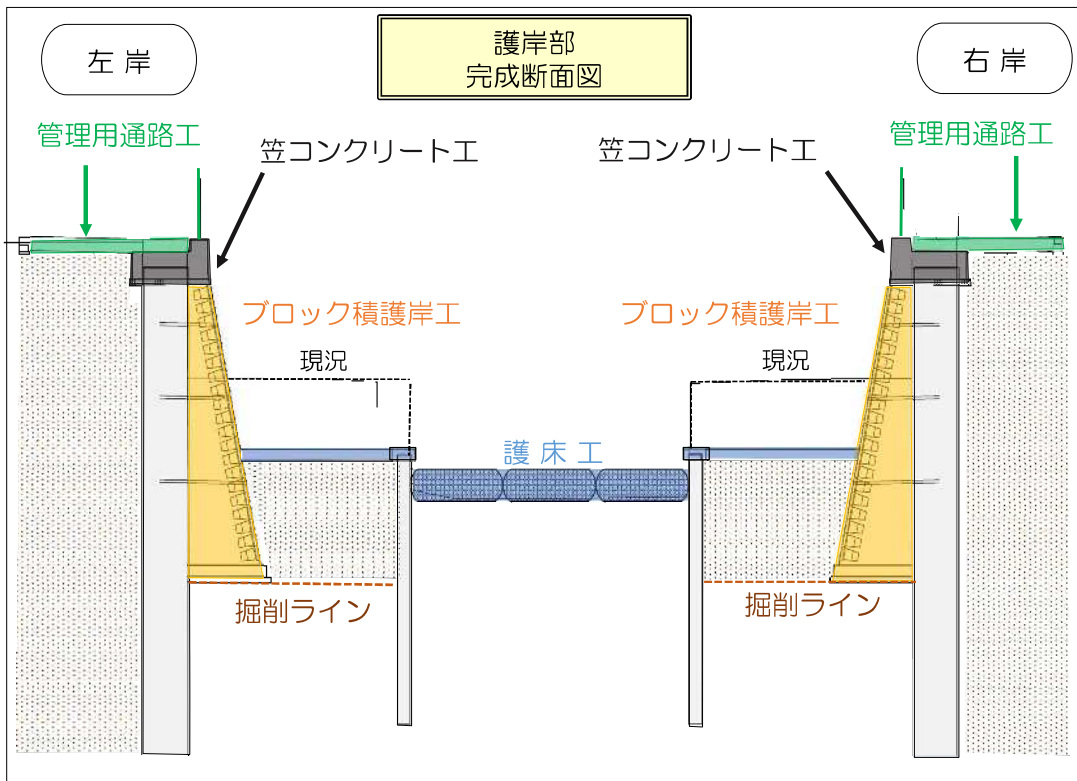
工事内容

本工事は、神通橋上流側区間・橋梁区間・下流側区間において、両岸の護岸及び橋台・橋梁を新しく整備する工事です。



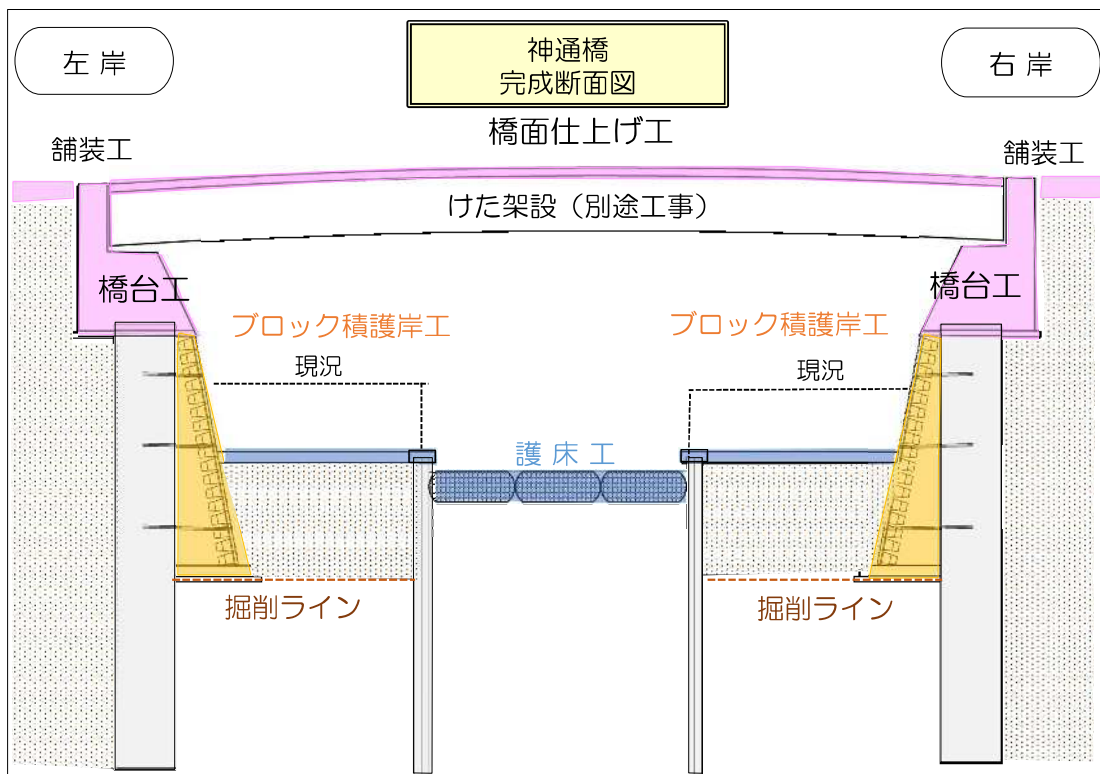
P.6

工事内容



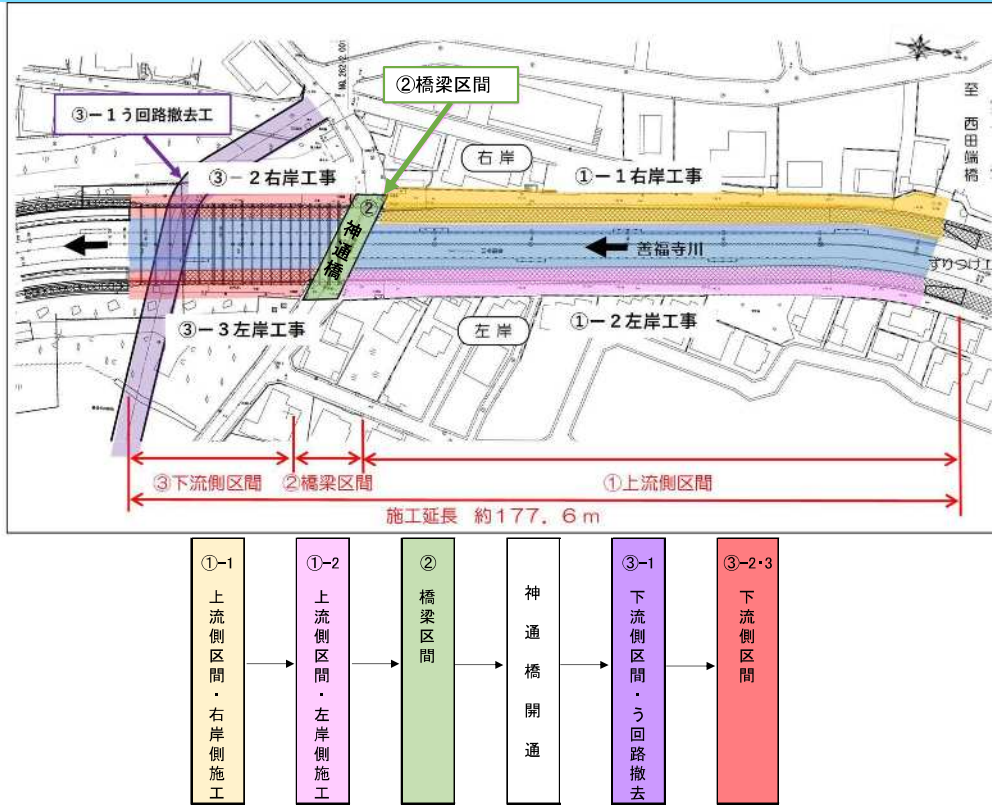
P.7

工事内容



P.8

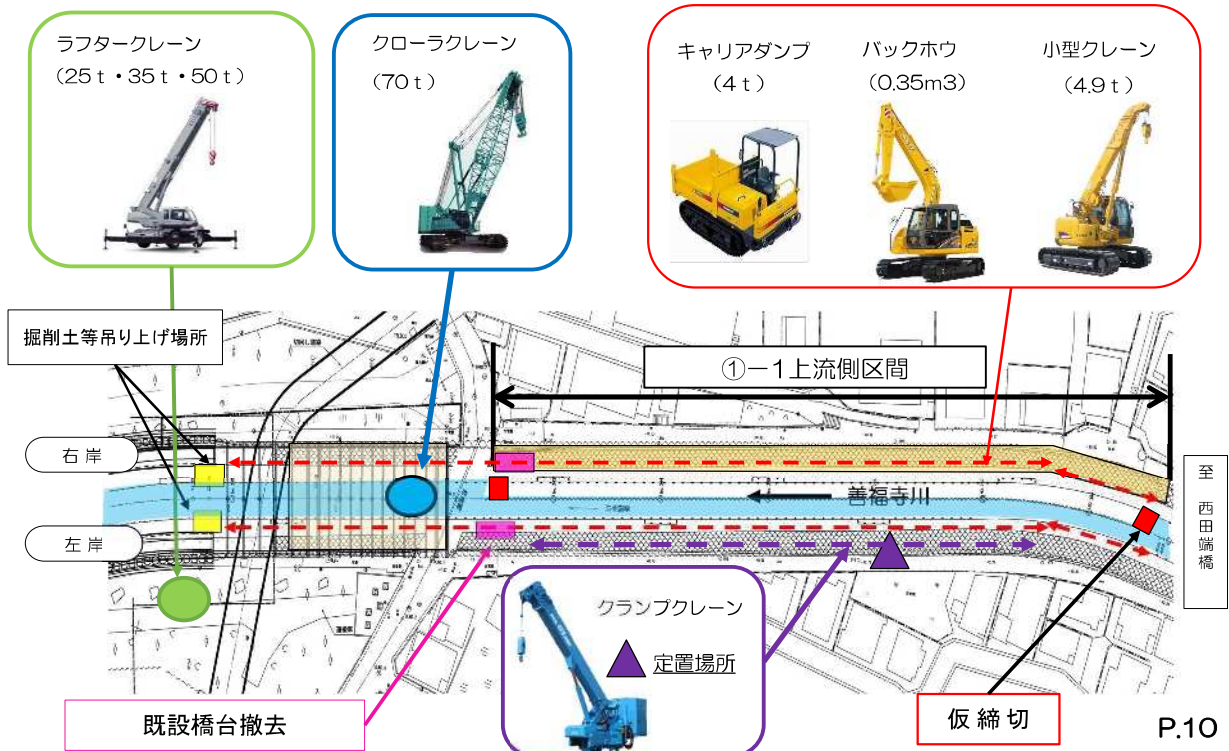
工事全体フロー



P.9

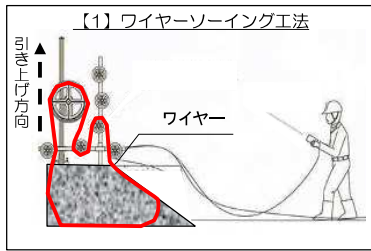
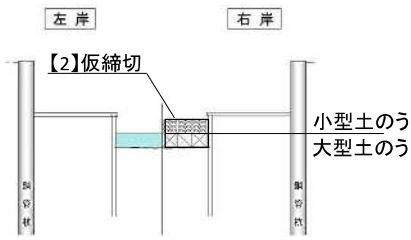
①-1.上流区間:右岸側施工

重機設置箇所・稼働範囲



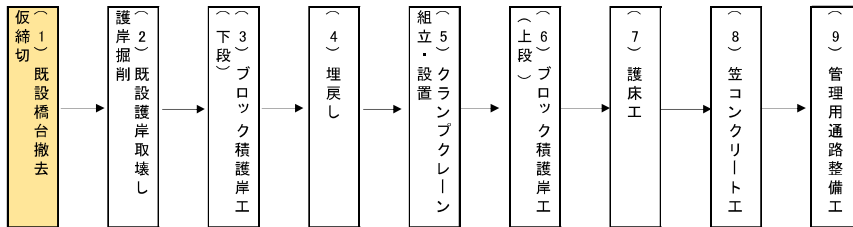
P.10

(1) 既設橋台撤去・仮締切

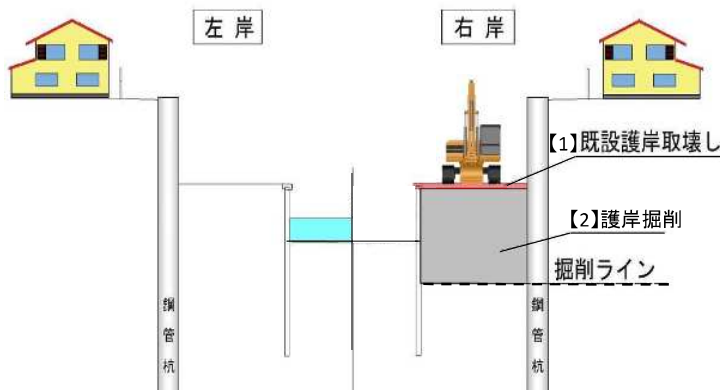


【1】既設橋台をワイヤーソーを使用し、切断・撤去を行います。

【2】平常時の川の流れを左岸側のみにします。締切には大型土のうと、小型土のうを使用します。洪水時には小型土のうが崩れ、右岸側にも流れるように設置します。

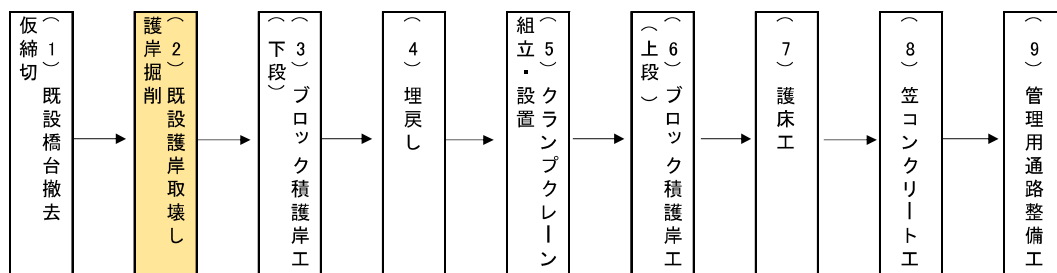


(2) 既設護岸取壊し・護岸掘削



【1】既設護岸を小割圧砕機を取り付けたバックホウで撤去を行います。

【2】護岸の掘削をバックホウを使用して行います。



護岸工事に使用する機械

バックホウ



小型クレーン



キャリアダンプ



- キャタピラで移動できる機械です。
- バックホウは掘削、埋戻し、小型クレーンは資材の吊り上げ作業、キャリアダンプは土砂やコンクリートからの運搬に使用します。

P.13

大型重機の紹介

ラフタークレーン

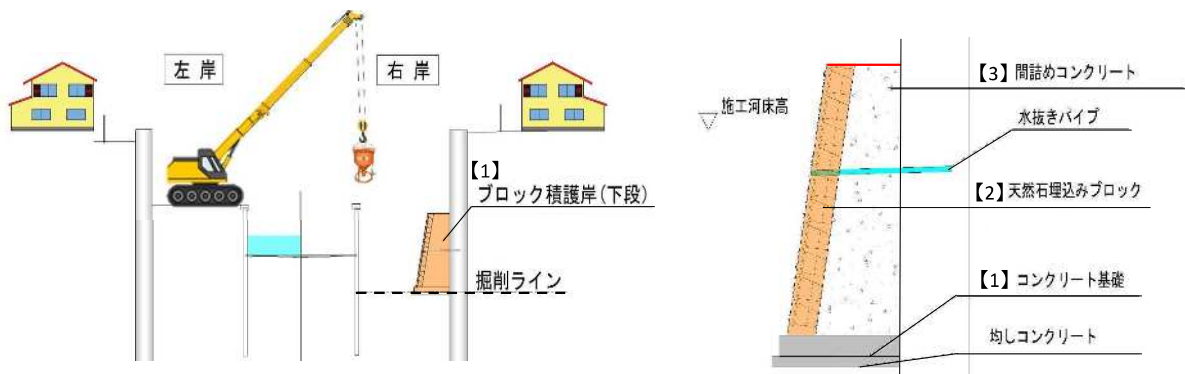


	仕様	ブーム長さ
クレーン 大きさ	25 t 吊	10m
	35 t 吊	16m
	50 t 吊	18m

- タイヤで自走することができるクレーンです。
- 作業内容にあわせて、必要な大きさのクレーンを使用します。

P.14

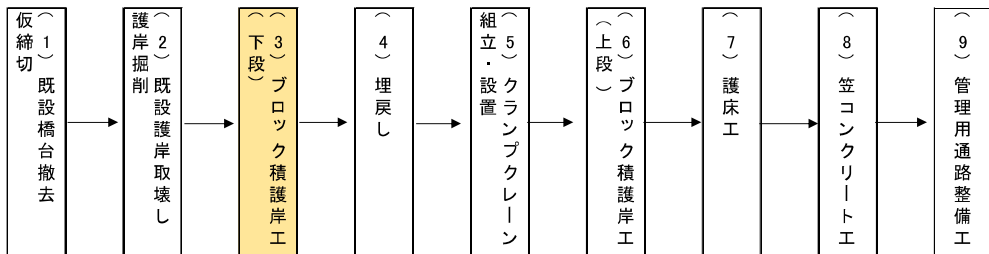
(3)ブロック積護岸工(下段)



【1】コンクリート基礎をホッパーを使用して打設します。

【2】天然石埋込みブロックを1段ずつ積み上げます。

【3】1段積み上げ後、ブロック背面にホッパーで間詰コンクリートを打設し、これを繰り返します。



P.15

コンクリート打設に使用する機械

トラックミキサー車



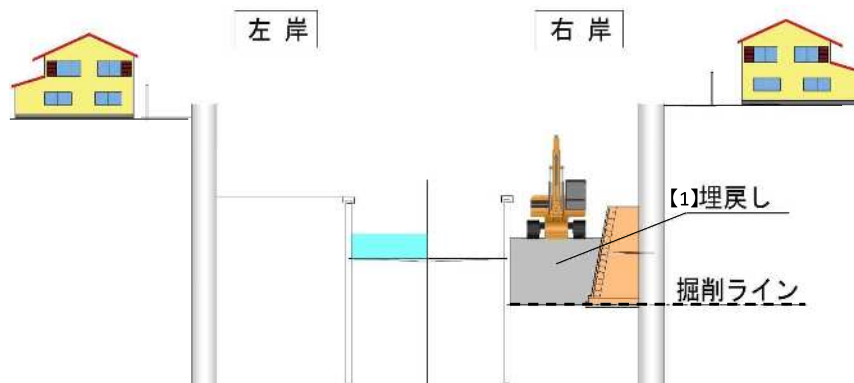
ホッパー



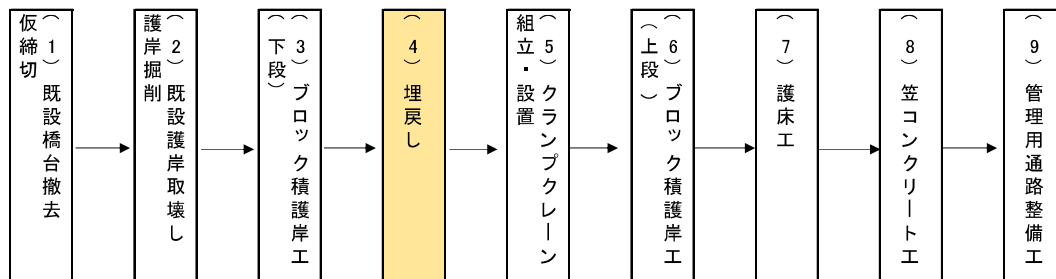
- コンクリートを工場から運搬するためトラックミキサー車を使用します。
- コンクリートをホッパーに入れて、打設箇所までキャリアダンプで運搬し、クレーンでホッパーを吊り上げてコンクリート打設を行います。

P.16

(4) 埋戻し



【1】護岸の前面をバックホウで埋戻します。



P.17

(5) クランプクレーン組立・設置

【1】クローラクレーン組立イメージ



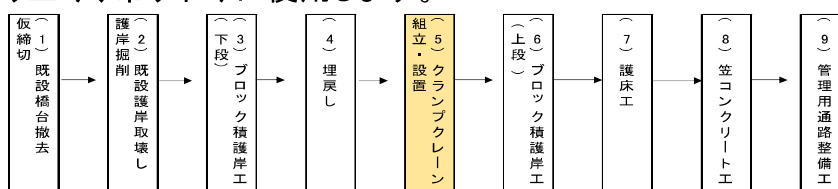
【2】クランプクレーン設置イメージ



【1】クランプクレーン設置前にクローラクレーンを組立てます。

【2】クローラクレーンにて、クランプクレーンを組立・設置します。

クローラクレーンは栈橋上に設置し、作業開始時と作業終了時に重機の吊り上げ、吊り下げに使用します。



P.18

大型重機の紹介

クローラクレーン



※ 前回工事写真

	仕様
クレーン 大きさ	70 t 吊
ブーム 長さ	24m

- キャタピラで移動することができるクレーンです。
- 使用目的として、重機を河川内へ上げ下ろしする際に使用します。
- 国土交通省より指定を受けた「低騒音型建設機械」を使用します。
- 仮栈橋上で使用します。 P.19

大型重機の紹介

クランプクレーン

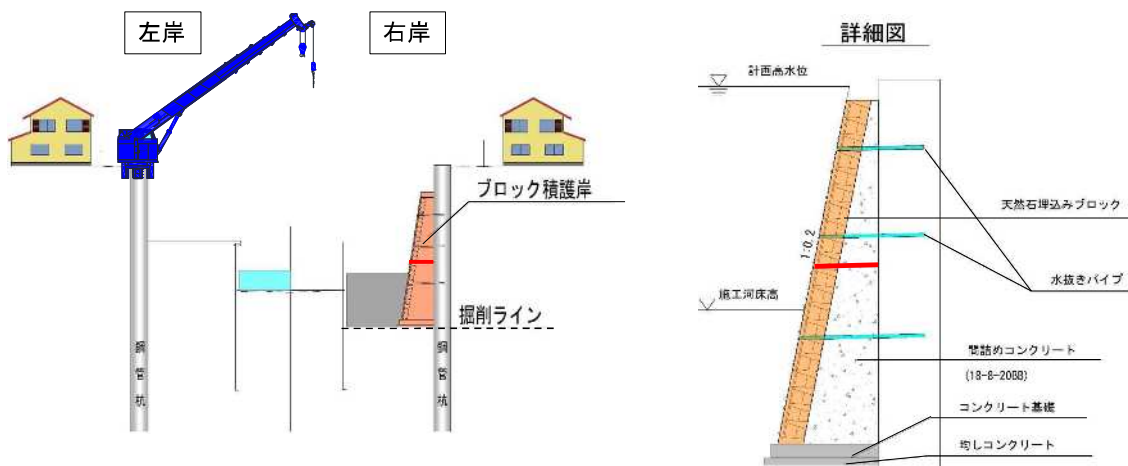


※ 前回工事写真

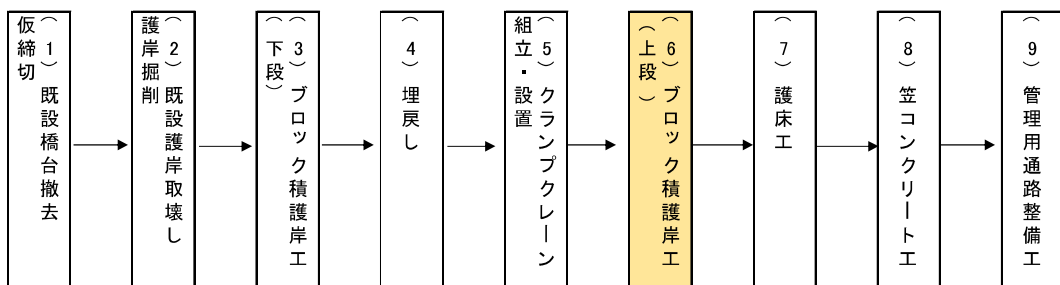
	仕様
クレーン 大きさ	20 t 吊
ブーム 長さ	17m

- 前回工事同様に鋼管上を自走することができるクレーンを使用します。
- 仮栈橋のクレーンが届かない範囲の吊り上げ作業を行います。
- 排ガス対策として浄化装置を使用します。
- 設置箇所は左岸側に設置します。 P.20

(6) ブロック積護岸工(上段)

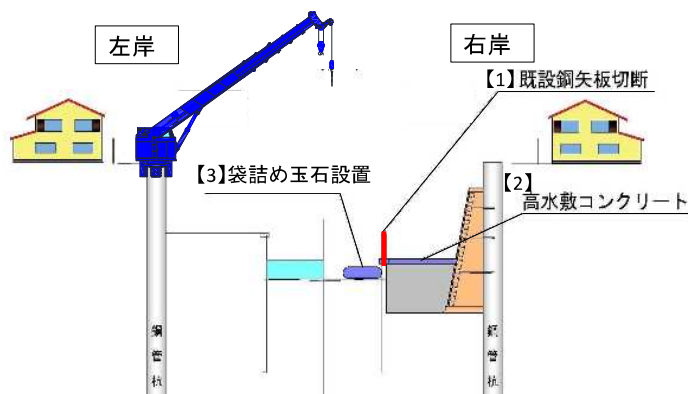


【1】上段はクランプクレーンまたは、小型クレーンを使用して下段と同様に施工を行います。

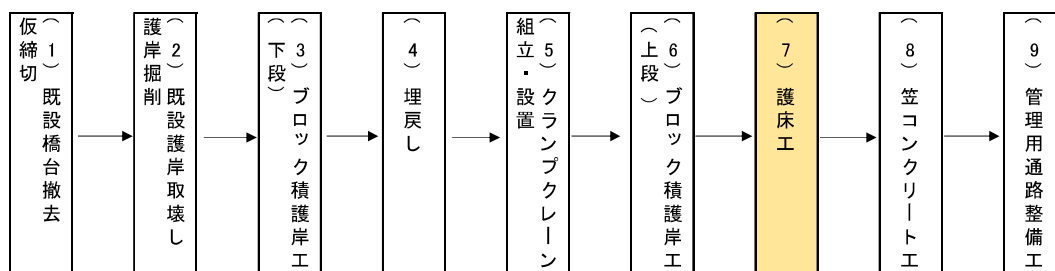


P.21

(7) 護床工



- 【1】 既設鋼矢板を切断し、撤去します。
- 【2】 コンクリートポンプ車を使用して、高水敷コンクリートを打設します。
- 【3】 クランプクレーンと小型クレーンを使用し、袋詰め玉石を河床に設置します。



P.22

コンクリート打設に使用する機械

トラックミキサー車



コンクリートポンプ車



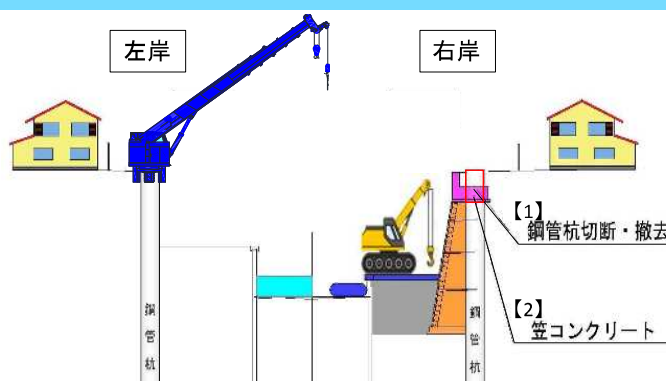
- コンクリートを工場から運搬するためにトラックミキサー車を使用します。
- トラックミキサー車に積んでいるコンクリートをコンクリートポンプ車へ入れ、先端を配管につなぎ、ポンプの力でコンクリートを送ります。



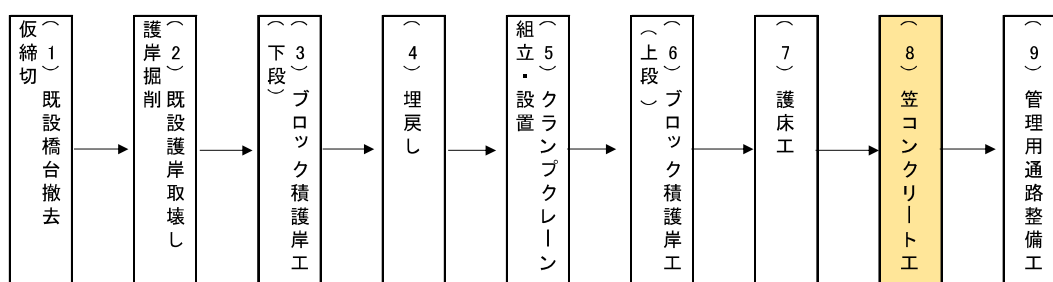
P.23

①-1.上流区間：右岸側施工

(8) 笠コンクリート工

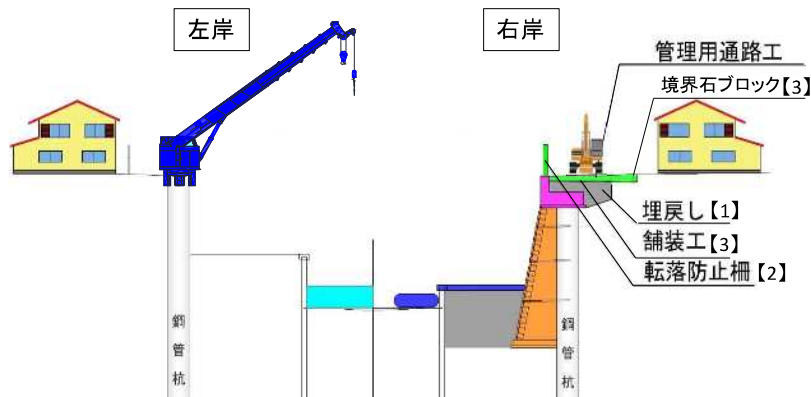


- 【1】 鋼管杭切断前に大型土のう、小型土のうにて養生を行います。
 小型クレーンまたは、クランプクレーンを使用して鋼管杭を切断し、撤去します。
- 【2】 鉄筋・型枠の施工後、コンクリートポンプ車を使用してコンクリートを打設します。

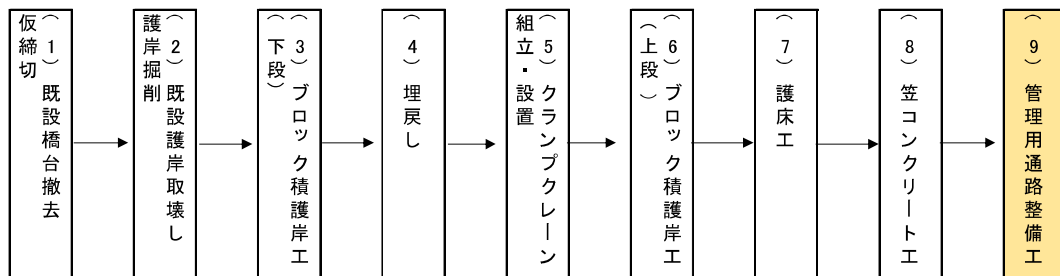


P.24

(9) 管理用通路整備工



- 【1】 笠コンクリートの背面をバックホウを使用して埋戻します。
- 【2】 管理用通路に転落防止柵等を設置します。
- 【3】 境界石ブロックを設置し、舗装工を行います。



P.25

管理用通路整備工事に使用する機械

小型バックホウ



小型ダンプ



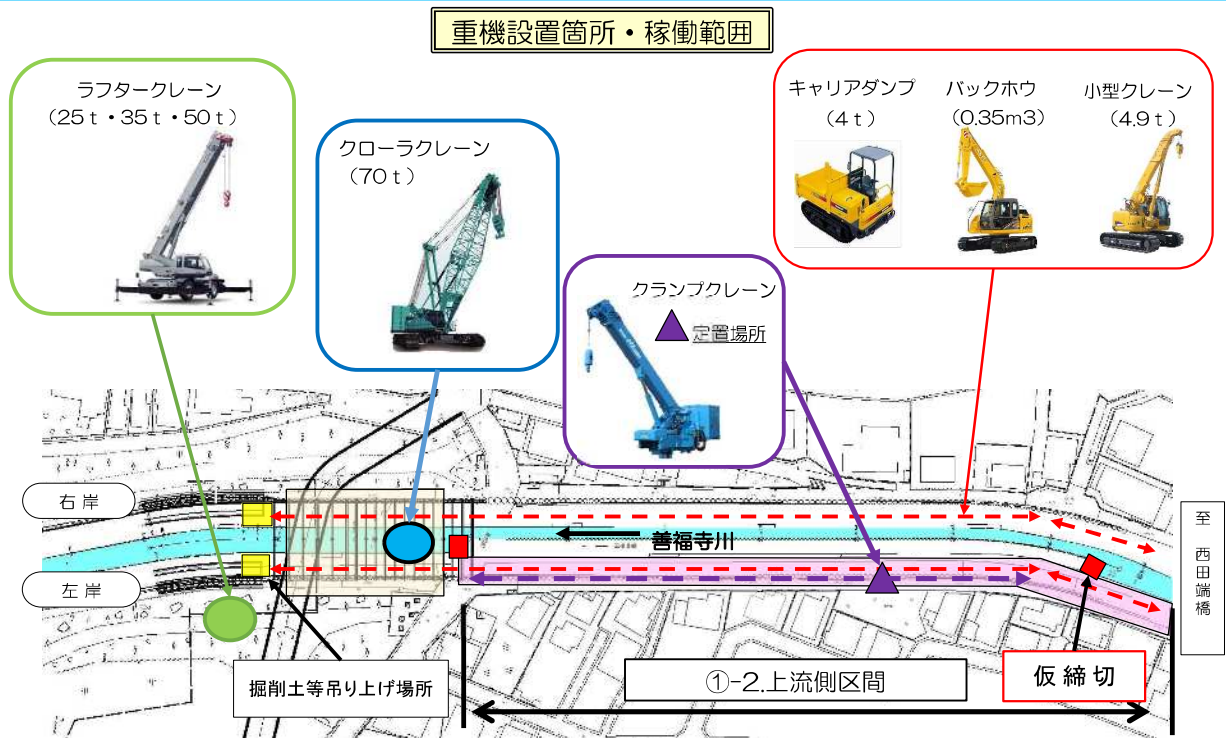
ランマー・プレート・サイドローラー



- 小型バックホウで掘削、埋戻しを行います。
- 小型ダンプは土砂等の運搬で使用します。
- 路盤や舗装の転圧にランマー、プレート、サイドローラーを使用します。

P.26

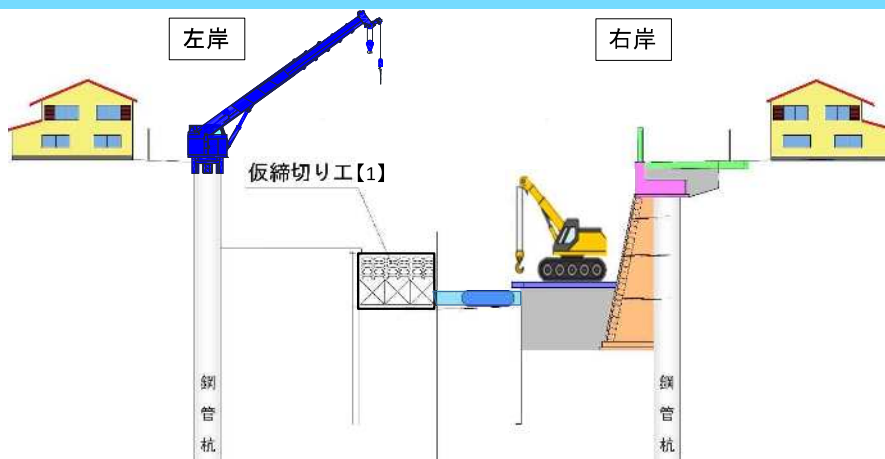
①-2.上流区間:左岸側施工



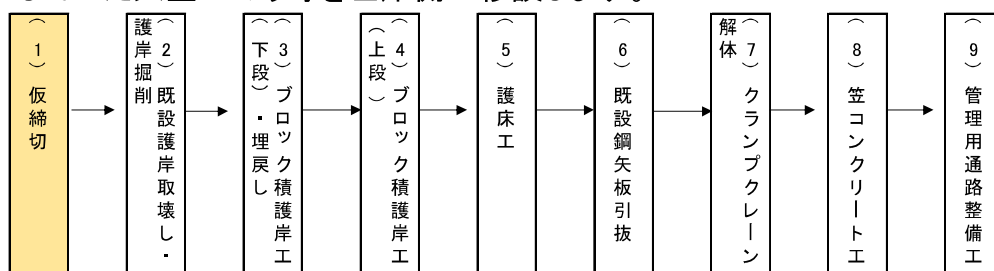
P.27

①-2.上流区間:左岸側施工

(1) 仮締切(左岸側)

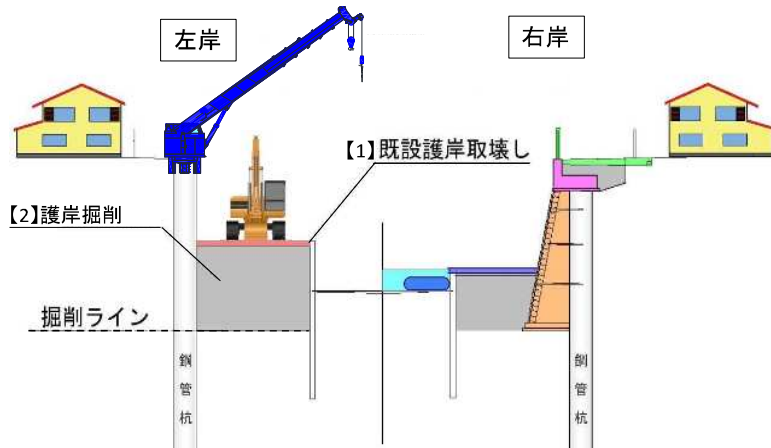


【1】 上流区間右岸側の施工完了後、左岸側の施工となります。右岸側を仮締切していた大型土のう等を左岸側へ移設します。

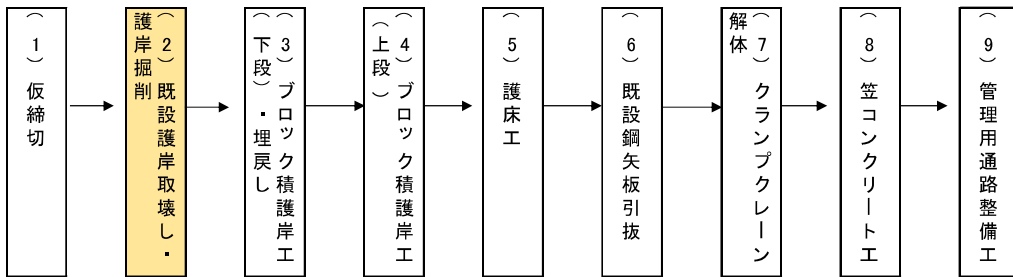


P.28

(2) 既設護岸取壊し・護岸掘削

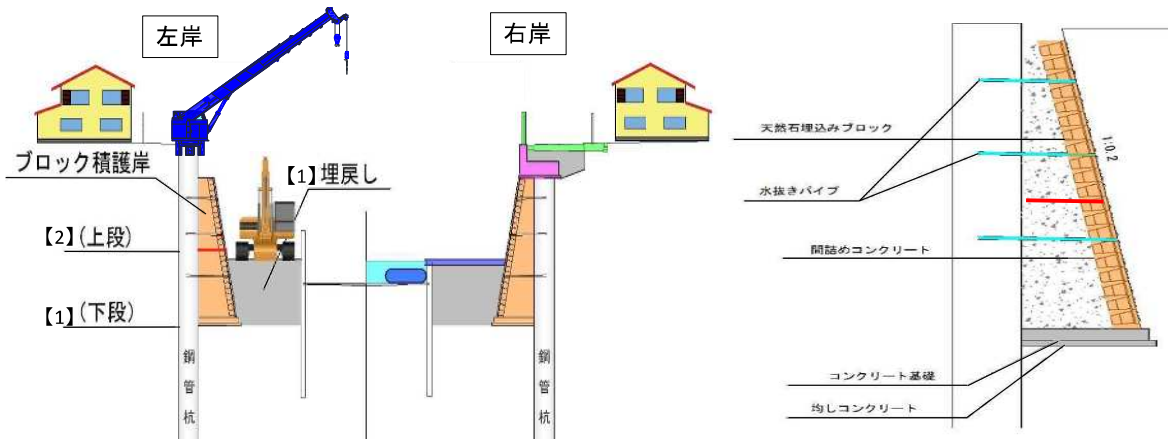


- 【1】 既設護岸を小割圧砕機を取り付けたバックホウで撤去を行います。
 【2】 護岸の掘削をバックホウを使用して行います。

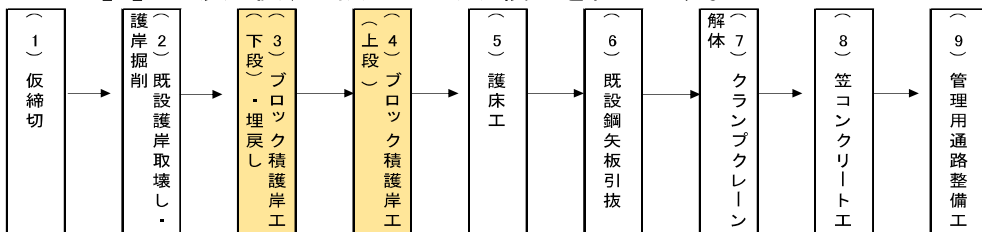


P.29

(3)・(4) 護岸ブロック積工・埋戻し工

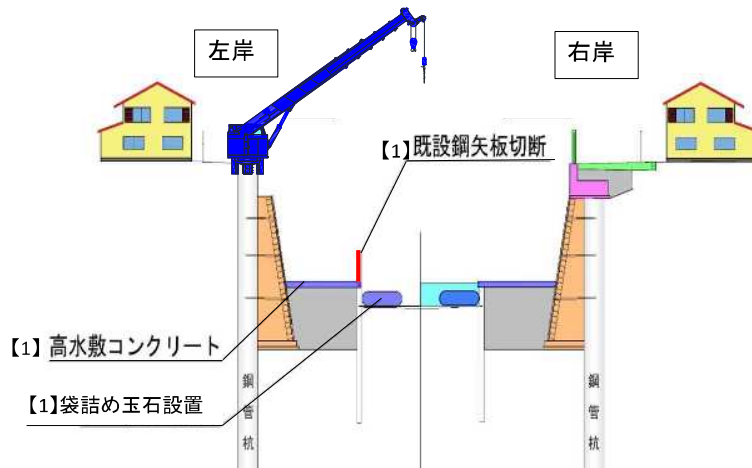


- 【1】 右岸側と同様、下段のブロックを積み、埋戻しを行います。
 【2】 埋戻し後、上段のブロック積みを行います。

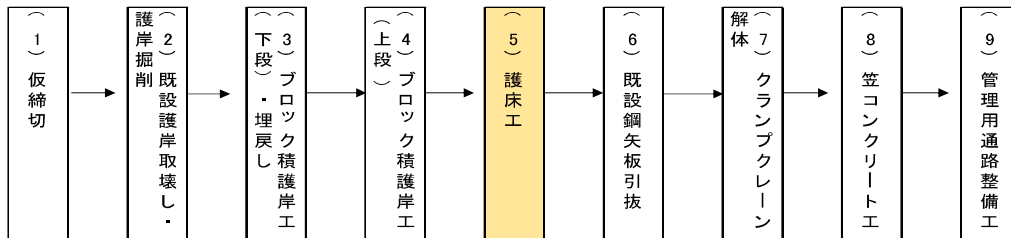


P.30

(5) 護床工

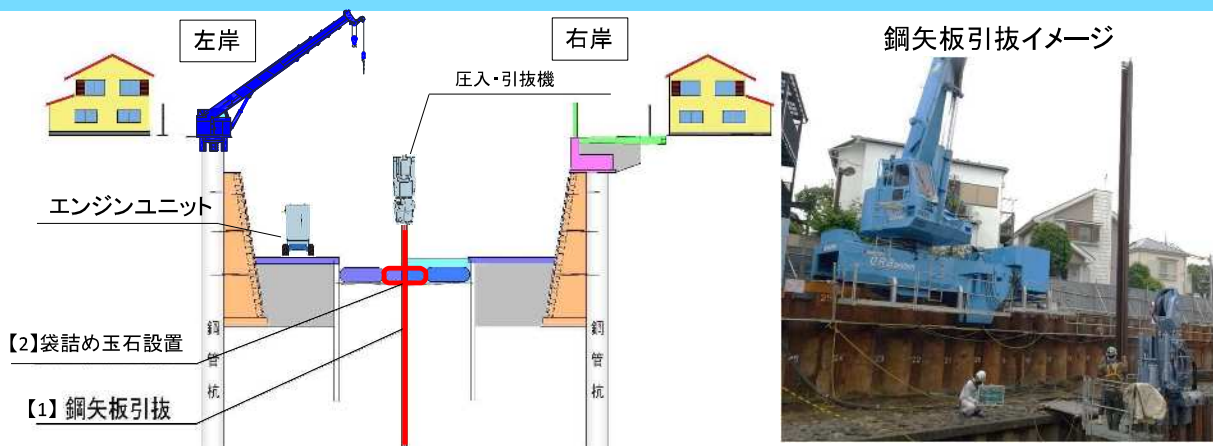


【1】右岸側と同様に護床工を行います。



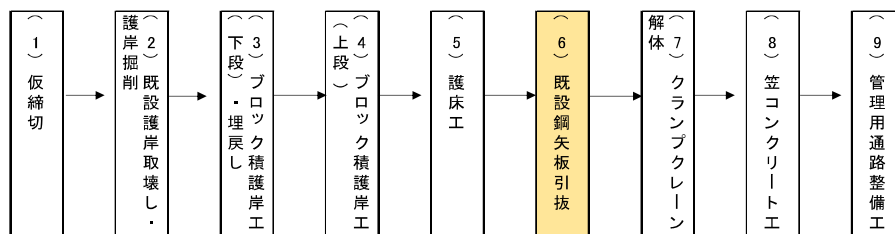
P.31

(6) 既設鋼矢板引抜



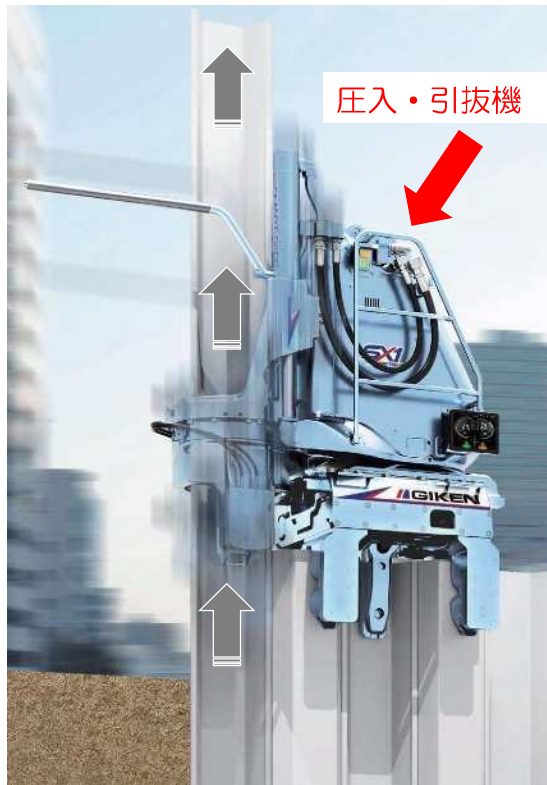
【1】 鋼矢板の上部に圧入・引抜機(サイレントパイラー)を設置し、鋼矢板の引抜きを行います。
吊り上げ、吊り下げ作業でクランプクレーンを使用します。

【2】 鋼矢板引抜後、袋詰め玉石を設置します。



P.32

鋼矢板引抜きに使用する機械



エンジンユニット（動力源）



- 鋼矢板上に設置して、自走しながら鋼矢板を地中から引き抜くことができます。
- 騒音、振動が少ない施工が可能です。

P.33

①-2.上流区間：左岸側施工

(7) クランプクレーン解体

クランプクレーン解体

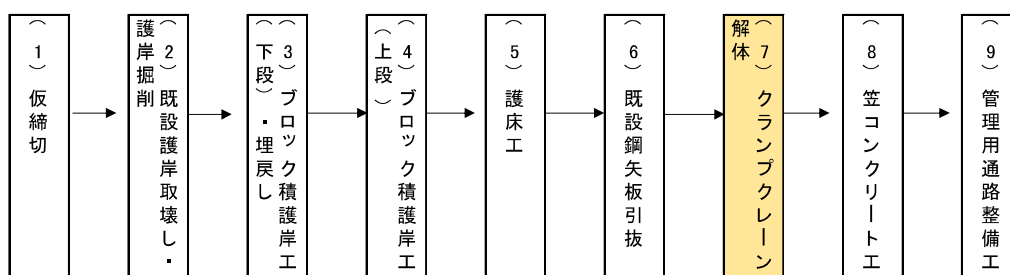


クローラクレーン解体



【1】 クランプクレーンとクローラクレーンの解体を行います。

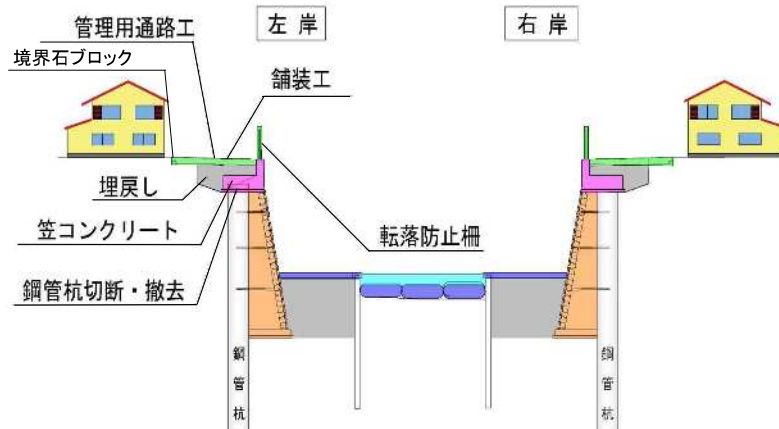
※これ以降の工程から最大50tラフタークレーンで吊り上げ・吊り降ろし作業を行います。



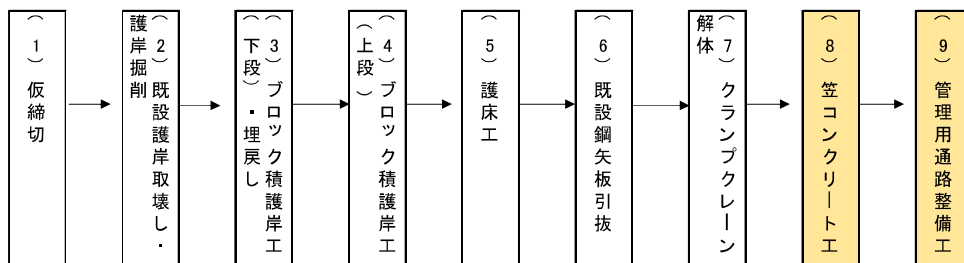
P.34

①-2.上流区間：左岸側施工

(8)・(9) 笠コンクリート工・管理用通路整備工

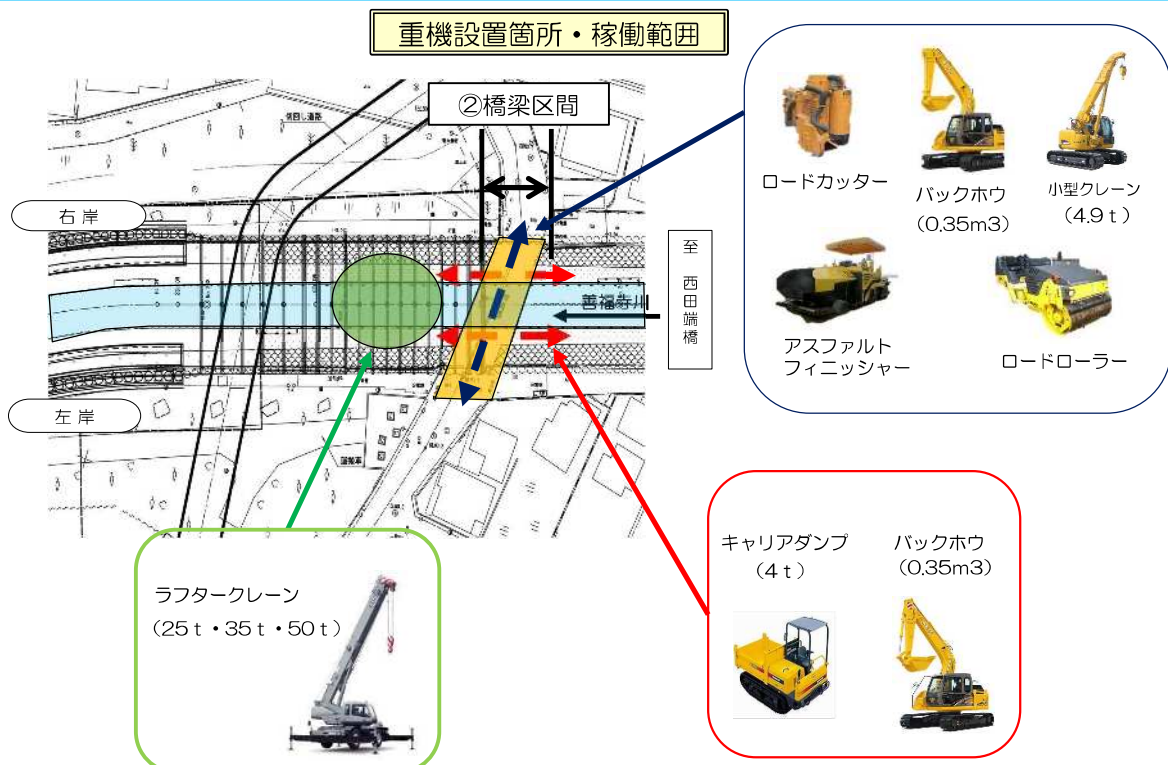


【1】右岸側と同様に、笠コンクリート工と管理用通路整備工を行います。



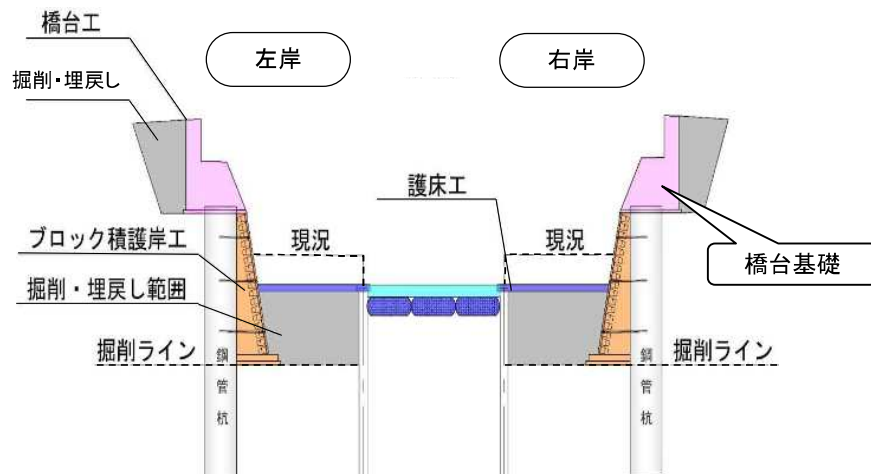
P.35

②.橋梁区間

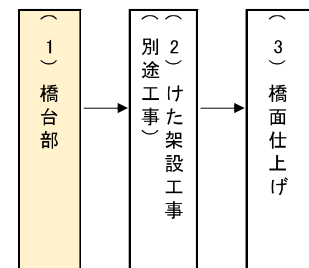


P.36

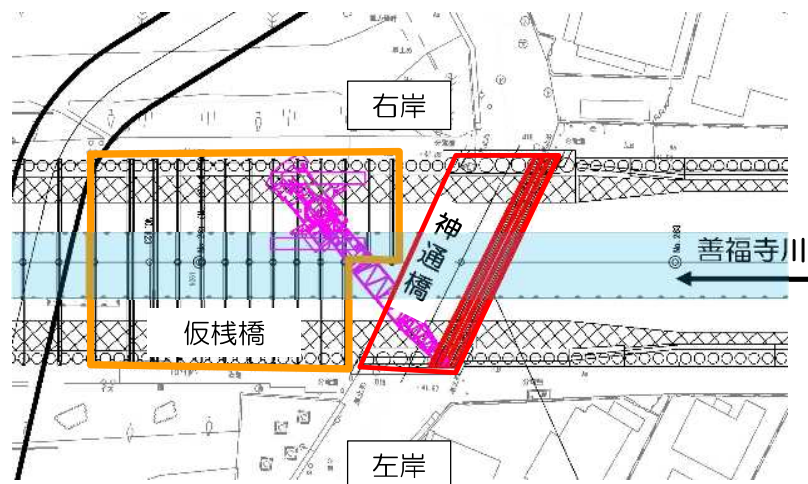
(1)橋台部



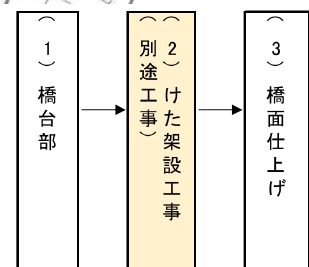
- 【1】 橋の上部にある仮栈橋を一部撤去します。
- 【2】 上流区間と同様に護岸の工事をを行います。
- 【3】 橋台の背面を掘削し、橋台基礎を構築し、埋戻しを行います。
(鉄筋→型枠→コンクリート打設(コンクリートポンプ車使用))



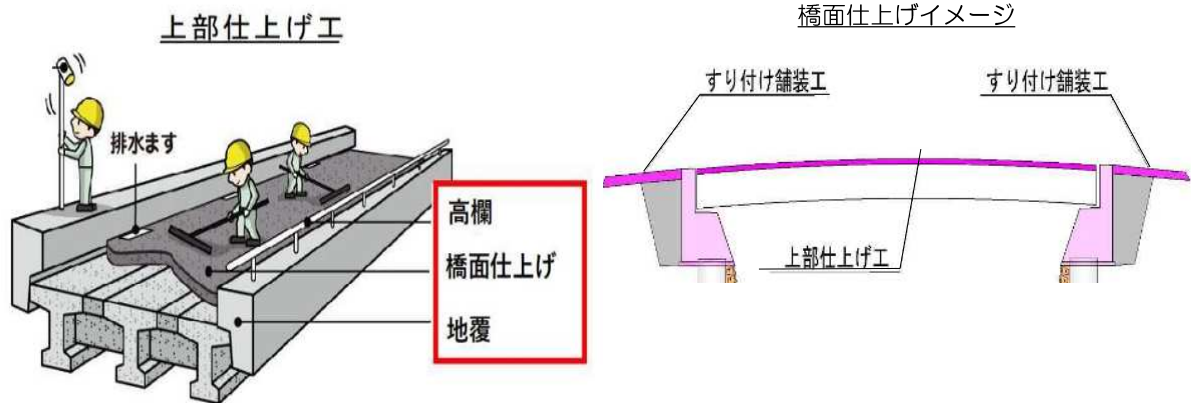
(2)橋脚けた架設工事(別途工事)



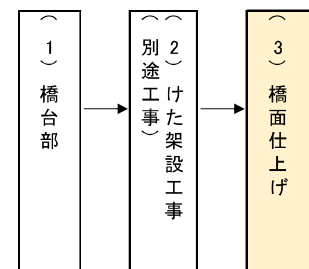
- ・別途工事で神通橋のけた架設工事を行います。



(3) 橋面仕上げ



【1】 神通橋のけた架設後、橋面仕上げを行います。



P.39

橋梁区間工事に使用する機械

ロードローラー



アスファルトフィニッシャー



ランマー



ハンドローラー



舗装カッター



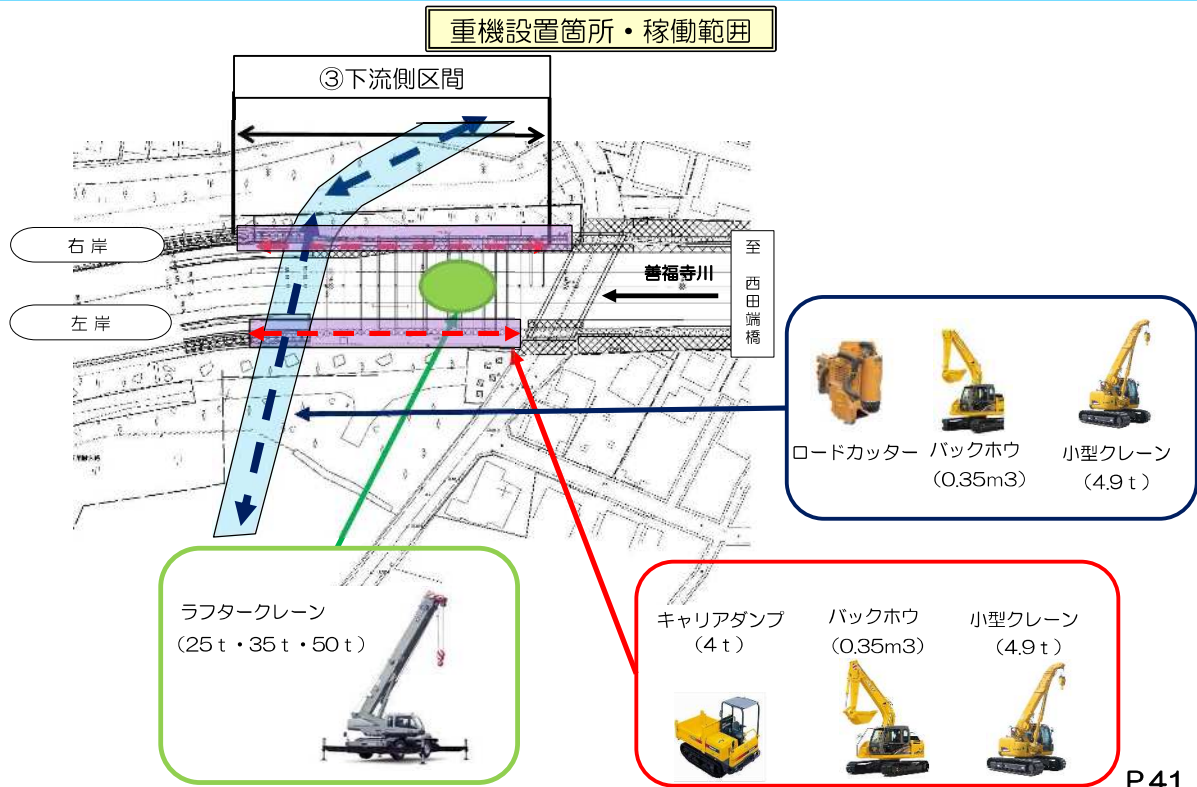
プレート



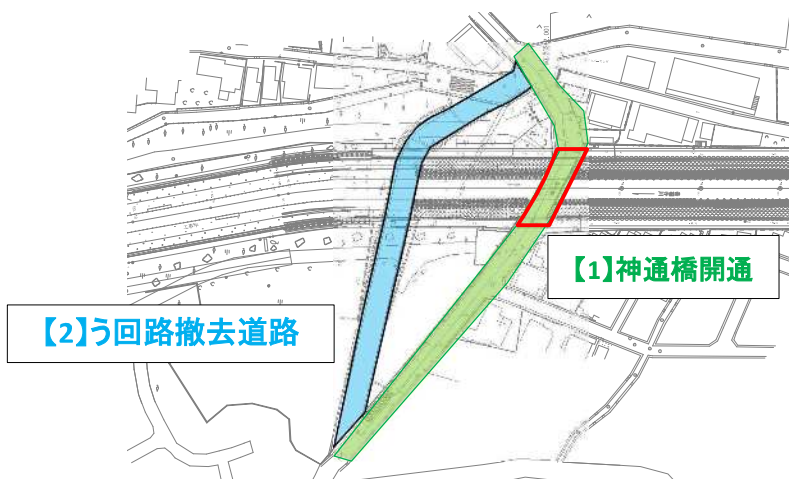
- ロードローラー、ランマー、ハンドローラー、プレートは転圧機械です。
- アスファルトフィニッシャーは道路の舗装に使用します。
- 舗装カッターで舗装を切断します。

P.40

③下流側区間

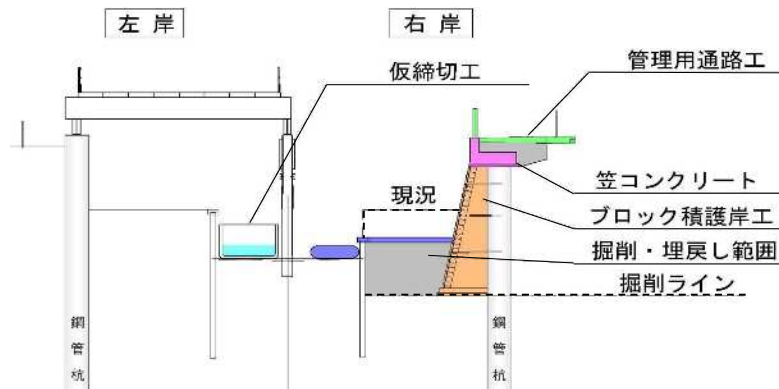


③-1.う回路撤去工

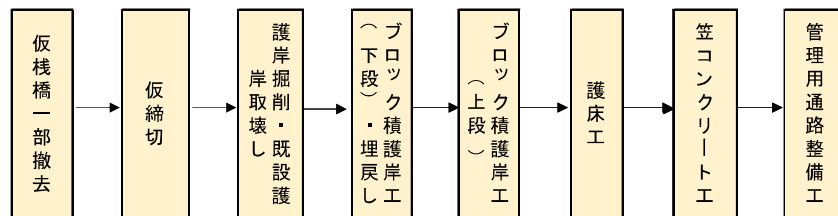


- 【1】 路面標示を工事開始前の状態へ戻したら神通橋を開通します。
- 【2】 神通橋開通後、う回路(青)を撤去します。

③-2. 右岸側護岸工

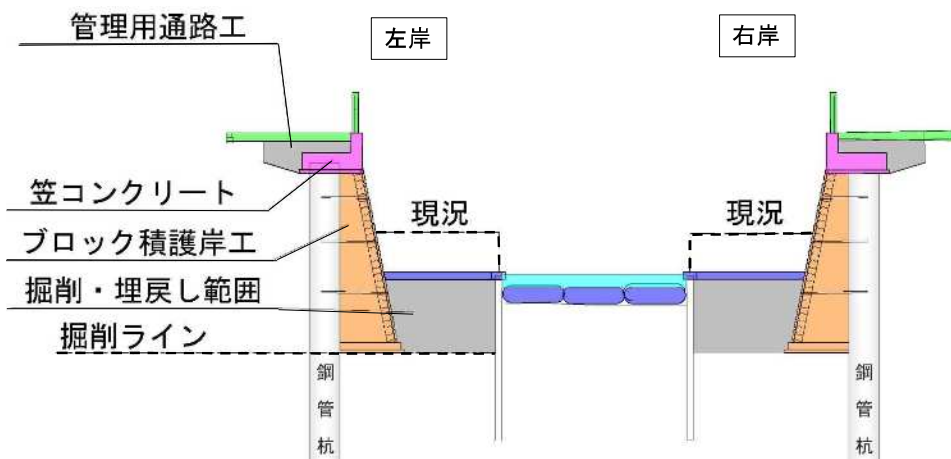


- 【1】 右岸側施工範囲の仮栈橋を一部撤去します。
- 【2】 仮締切工から管理用通路整備工は上流区間と同様に施工を行います。

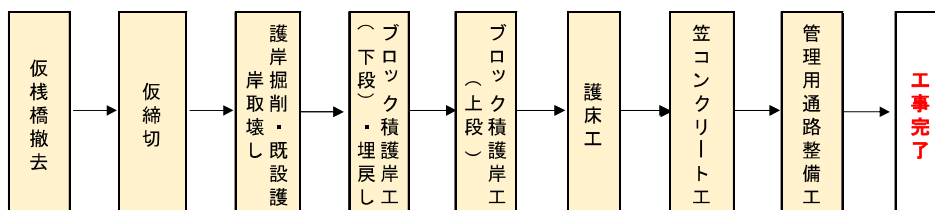


P.43

③-3. 左岸側護岸工



- 【1】 残りの仮栈橋を撤去します。
- 【2】 仮締切工から管理用通路整備工は右岸側と同様に施工を行います。



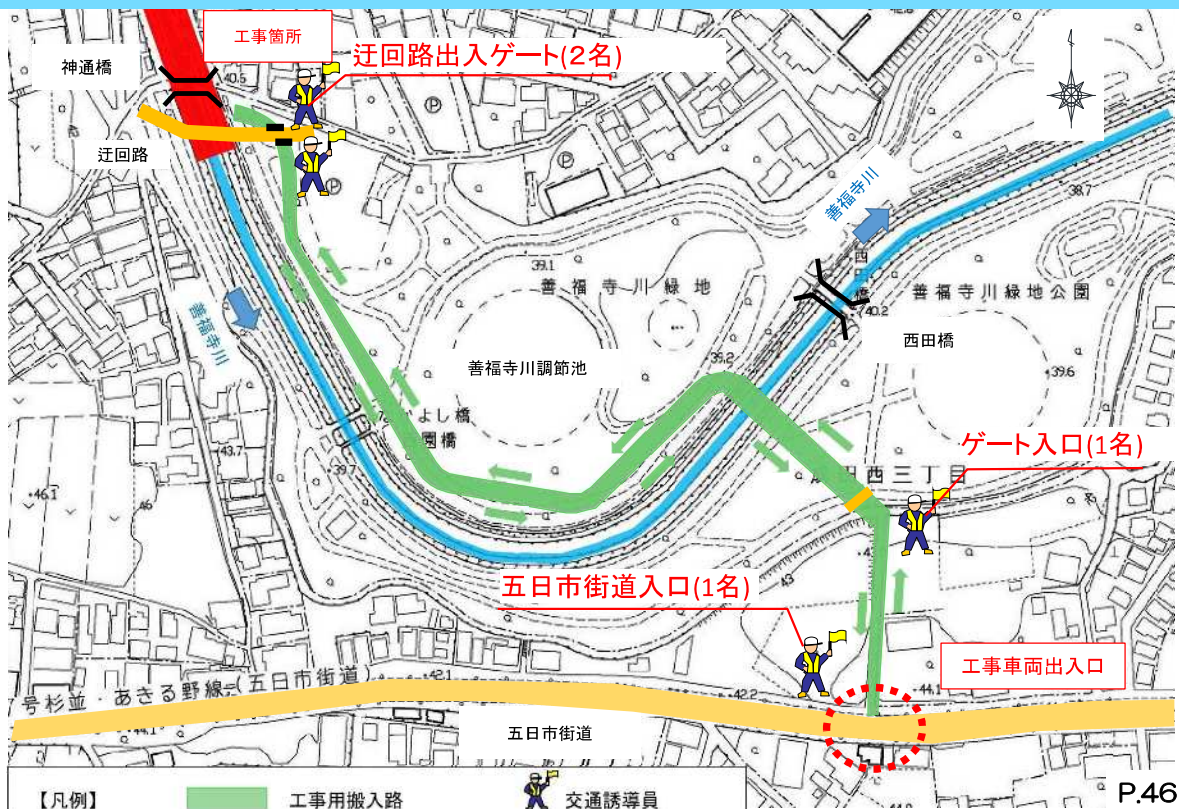
P.44

工事工程表

工事工程表	令和3年					令和4年					令和5年					令和6年				
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
準備工・後片付け工	■																		■	
①上流側区間	■ ①-1.右岸側施工					■ ①-2左岸側施工														
②橋梁区間											■ ②.橋台部		■ ②.橋面仕上げ			■ けた架設工事(別途工事)		■ 神通橋開通		
③下流側区間													■ ③-1.う回路撤去		■ ③-2.右岸側工事		■ ③-3.左岸側工事			

※工事の進捗、天候等により工程が変更となる場合があります。

工事搬入車両経路図



【問い合わせ先】

★善福寺川整備工事全般に関すること

東京都第三建設事務所 工事第二課 設計総括担当

⇒ 電話 03-3387-5367

★善福寺川整備工事(その205)に関すること

東京都第三建設事務所 工事第二課 善福寺川事業センター

⇒ 電話 03-5305-3540

★善福寺川整備工事(その205)の内容や施工方法等の詳細に関すること

受注者:大豊・黒部建設共同企業体 善福寺川作業所

⇒ 電話 03-5335-7152

⇒ 携帯 080-4376-2147

ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解・ご協力お願い致します。